

# 防災リュック講座

1月20日(火)に、損害保険ジャパン株式会社「防災ジャパンダプロジェクト」の皆様を講師にお迎えし、生徒を対象とした「防災リュック講座」を実施しました。

はじめに、講師の方から地震などの自然災害に備えることの大切さについてお話いただきました。災害はいつ起こるかわからないからこそ、日頃からの備えが自分や家族の命を守ることにつながるというメッセージを、生徒たちは真剣な表情で聞いていました。



講座の前半では、生徒一人ひとりが「防災リュック中身シート」を使い、自分の防災リュックに入れておきたい物・必要だと思う物を選ぶ個人ワークを行いました。水や食料、衛生用品、生活用品など、多くの選択肢の中から、「自分に必要なものは何か」「どんな場面で役立つのか」を考えることで、災害時の生活を具体的にイメージする姿が見られました。

後半では、「防災リュック台紙」に必要な物を当てはめるパズル形式のグループワークを行いました。

防災リュックには限られたスペースしかないため、大きさや形を考慮しながらアイテムを選び、「これは必要?」「こっちの方がコンパクトでいいかも」など、グループで活発に意見を交わしながらパズルを完成させていました。

出来上がった防災リュックはグループごとに個性があり、食料を多めに入れたグループ、衛生用品を優先したグループなど、それぞれの考えやこだわりが表れた内容となりました。



完成したグループの中から数グループがステージに上がり、こだわったポイントや工夫した点を発表しました。

損保ジャパンの講師の方からは、防災の観点からのアドバイスや「とてもよく考えられています」といった温かいコメントをいただき、生徒たちにとって学びの深まる時間となりました。

講座後のアンケートでは、「防災リュックを準備しようと思った」「家族とも話してみたい」など、生徒の防災意識が高まったことがうかがえました。

損保ジャパンの皆様からいただいた丁寧なご指導のおかげで、生徒たちは防災について主体的に考える貴重な機会となりました。

